

# < 修立地区の地域課題 >

1

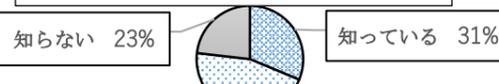
## 関わり合う機会の減少

- ▶ コロナ禍により、人と人との関わりが減少
- ▶ 高齢化の進展（孤立しがちな状況有り）
- ▶ 世代間交流が少ない ▶ イベント参加者・利用者の減少

高齢者の割合比較		
	65歳以上の高齢者の割合	高齢者のうち75歳以上の割合
全国 (R2)	28.6%	14.7%
鳥取県 (R2)	32.3%	16.8%
鳥取市 (R3)	29.7%	14.6%
修立地区 (R3)	<b>30.3%</b>	<b>16.2%</b>

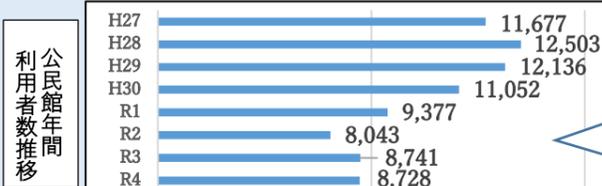
修立地区は、全国・県・市と比べ、高齢化率が高い状況にある。

まちづくり協議会の活動を知っていますか。



まち協の活動を知らない方が20%程度ある。

聞いたことはある 46%



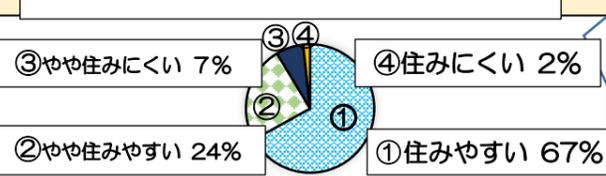
平成28年度をピークに減少傾向が顕著。R3年度以降は少し持ち直している。

2

## 防災体制の整備

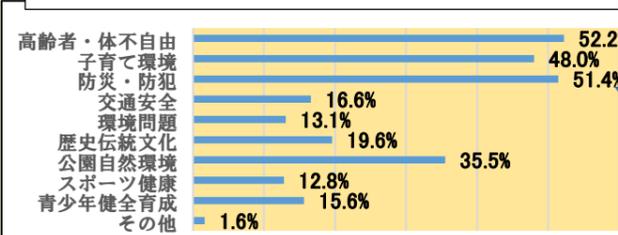
- ▶ 空き家が増えてきた ▶ 災害時の避難場所が少ない
- ▶ 団体間の連携必要 ▶ 積雪時の防災体制が必要
- ▶ 要支援者の避難体制が必要

修立地区は住みやすい地域だと思いますか。



90%以上の方が住みやすさを感じている。一方で、「やや住みにくい・住みにくい」と回答した人の約半数が「道路が狭い」「積雪時の問題」を挙げていた。

修立地区をどのような地域として発展させたら良いか。



回答者の51.4%が防災・防犯体制の必要性を感じている。

3

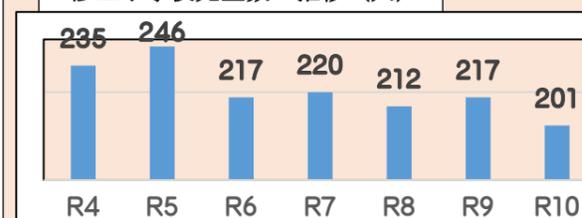
## 次世代育成のシステム

- ▶ 児童数の減少 ▶ 世代間交流の減少 ▶ 学習・遊び場が少ない
- ▶ 若手（30～50代）の地域参加が少ない
- ▶ 集まる拠点が少ない ▶ 小学校と公民館の場所が離れている



H28(2016)年をピークに大きく減少。近年は安定してきているものの、今後は減少傾向が続く見込み。

修立小学校児童数の推移 (人)



R5年度をピークに減少傾向が顕著になり、R10年度以降には、200人台を割り込む見込み。

### 合言葉

### 目標

# 明るく元気に 力を合わせて 豊かな文化と心を育むまちづくり

## SDGsの目標

SDGsの17の目標のうち、修立地区の課題の改善解決に向けた3つの目標を探り上げた。

持続可能な開発目標  
SDGs  
Sustainable Development Goals

17

パートナーシップで目標を達成しよう

パートナーシップで目標を達成しよう

11

住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちづくりを

4

質の高い教育をみんなに

質の高い教育をみんなに

各団体との共催事業 修立イルミネーション  
各団体合同研修会 文化祭 地区大運動会

登下校子供見守り隊 組織の再編  
地域通貨の発行 修立の伝統文化の継承

防災訓練 花いっぱい運動  
あんどん桜まつり 敬老会

修立地区防災計画 健康ウォーキング  
ラジオ体操活性化の取組 ふれあいカフェ

エコクラブの活動 プログラミング教室  
学校支援ボランティアの活動 宿泊体験活動

地域学校協働本部の活動 修立カルタづくり  
地域の歴史副読本

「参画」と「声かけ」で  
地域に広げるみんなの笑顔

これまである  
事業や活動

あつたらしい  
事業や活動

皆とワイワイおしゃべりする機会があつてありがたい楽しい。あんたも寄って来んさいな。



地域の課題は、みんなと話し合っていると、案外サクッと解決の糸口が浮かんできますよね。



修立は安全安心なまちなので、だれにとっても住み心地がいいなあ！



修立はみんながやさしく声をかけてくださるので、本当に子育てしやすい場所だよね！



修立の未来は、私たちに任せてください！

将来、修立でみんなのために役立ついたいなあ！



### 目指す住民像